

第2回

海の宝!

**水産女子の元気プロジェクト
推進会議**

令和元年6月7日

第2回「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」推進会議
議 事 次 第

令和元年6月7日（金）

13:00～14:45

水産庁中央会議室

1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) ロゴマークの決定について

(2) プロジェクトの進捗状況について

(3) 講演「東日本大震災、2mを超える津波からの再出発」

講師 木村朱見氏（湊水産株式会社取締役／宮城県石巻市）

(4) 意見交換

4 閉会

第2回「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」推進会議 出席者名簿

令和元年6月7日(金)

所 属	氏 名	備 考
山陰旋網漁業協同組合	井本 慶子	団体職員
有限会社新井崎水産	大西 幸子	漁業(定置網(陸送ほか)、海女漁((アワビ、サザエ、ナマコ、ワカメ、アラメ、ウニ、ガンガラ、ヒトデ(堆肥用))
全国漁業協同組合連合会	金田 奈都子	団体職員
川内谷漁業部	川内谷 幸恵	漁業(ウニ、アワビ、刺し網)
湊水産株式会社 湊水産 結のいえ保育園 石巻うまいもの株式会社	木村 朱見	製造(たらこ、明太子)、石巻市女性活躍推進会議委員
株式会社小島水産	小島 沙綾佳	水産卸・加工業(養殖(乙女鯛・乙女鱒))
三重県漁協女性部連合会 鳥羽磯部漁業協同組合	小寺 めぐみ	海女見習い(あわび・さざえ・わかめ・ひじき)
マルショウ小西鮮魚店	小西 良子	鮮魚卸売、鮮魚発送
天草海部	正角 雅代	海の学習支援
Navire noir(ナヴィール ノワール) 噴火湾鮮魚卸龍神丸	舘岡 志保	漁業プロデューサー、営業広報マネージャー(刺し網漁、エビかご漁、干物(鰯、ホッケ)、広告宣伝、販売)
天草地区漁業士会、民宿一ニ海	田辺 麻弓	漁業(一本釣り)、民宿
株式会社かき村	谷本 明穂	水産小売業(真牡蠣、三倍体牡蠣、冷凍牡蠣、ちりめん、練り物類の販売)
株式会社ツツテ	中川 めぐみ	釣りアンバサダー(PR、メディア運営、コンテンツ企画運営・コーディネート)
樋長(東京都中央卸売市場)	中嶋 麻緒	水産物仲卸業(マグロ仲卸)
株式会社ゲイト	西地 絵美	商品開発(仲買・加工・運送・飲食店接客)
日本電気株式会社	早坂 真美子	事業開発、鯖愛好家
株式会社 布長 東京築地目利き協会	本間 奈々	豊洲市場仲卸(冷凍まぐろ)
音楽家	牧野 くみ	ピアノ演奏、作曲、歌唱など
有限会社友栄水産 株式会社クリエーションWEB PLANNING	益田 沙央里	車海老養殖・加工・販売
株式会社ゲイト	松村 ありす	商品開発(仲買・加工・運送・飲食店接客)
三重県魚食リーダー こだわり野菜栽培ユニット すいーとぼたけ	吉川 文	三重県魚食リーダー・農業
株式会社NTTDコモ	横井 優子	
株式会社モンベル	佐藤 和志	
株式会社モンベル	黒瀬 美保	
株式会社メロ アド エージェンシー	井上 達也	オブザーバー
株式会社メロ アド エージェンシー	諏訪 裕也	オブザーバー
株式会社メロ アド エージェンシー	土肥 征爾	オブザーバー
株式会社メロ アド エージェンシー	栗原 義徳	オブザーバー
水産庁次長	山口 英彰	
水産庁漁政部漁政課長	栗原 秀忠	
水産庁増殖推進部研究指導課長	廣山 久志	事務局
水産庁増殖推進部研究指導課課長補佐 (普及育成班担当)	南 哲也	事務局
水産庁増殖推進部研究指導課研究管理官	丸山 徳仁	事務局
水産庁増殖推進部研究指導課普及育成班 普及改善係長	宮崎 潤太	事務局

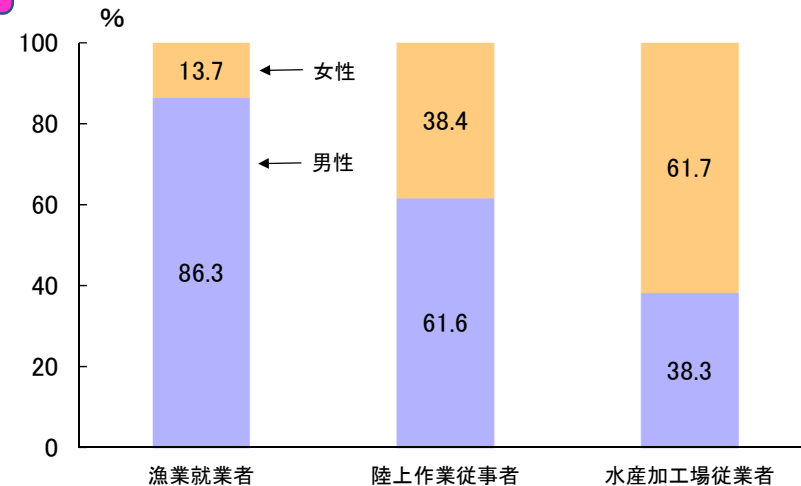
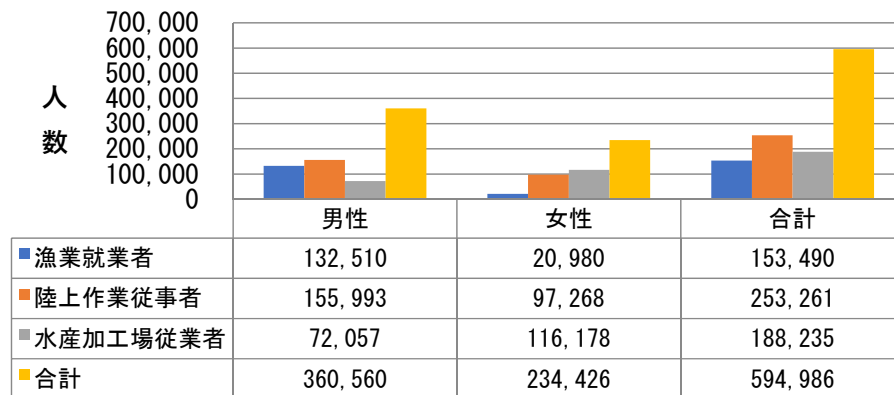
海の宝!水産女子の元気プロジェクトについて

プロジェクト設立の経緯

漁業就業者に占める女性の割合は約14%と低くなっているが、漁獲物の仕分けなどの水揚げ後の陸上作業(女性約38%)や、漁獲物の主要な需要先である水産加工業(女性約62%)においては、女性が重要な役割を果たしている。

漁業・水産業全体に占める女性の割合
約39%

漁業・水産業従事者数



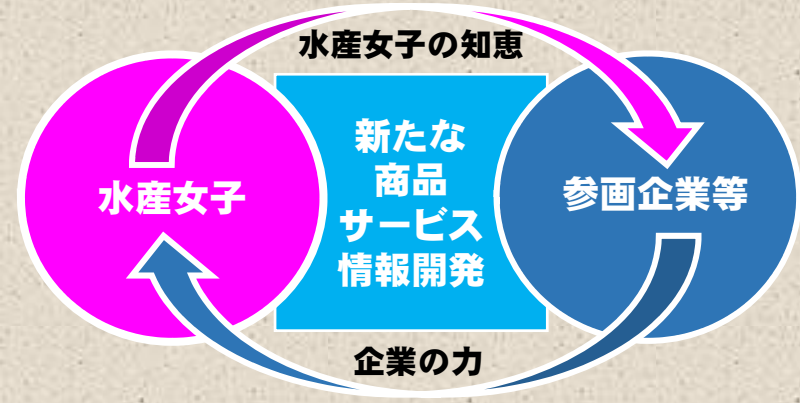
資料：農林水産省「漁業就業動向調査（平成29（2017）年）」（漁業就業者）及び「2013年漁業センサス」（陸上作業従事者及び水産加工場従事者）に基づき水産庁作成

➤ **漁業・水産業に従事する女性にスポットライトを当て、自らの意欲と能力を発揮して前向きに取り組む女性を応援**

➤ **「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」を立ち上げ**

「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」～概要～

「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」は、漁業・水産業の現場で活躍されている女性が、日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を、様々な企業及び団体等の技術、ノウハウ、アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会全体に発信していくためのプロジェクトです。



取組内容

- 企業等への参画呼びかけ、水産女子と企業等のマッチング、水産女子と企業等とのコラボ商品等の創造
- 水産女子間の交流・ネットワーク化、水産女子間のコラボ
- 水産女子の活動情報の紹介
- 水産女子イベントの開催、他業種との交流・連携 等

広く社会に発信

- 漁業・水産業の現場で働く女性の存在感を高める。
- 漁業・水産業の現場で働く女性自らの意識の改革、発想力・創造力等の発展を促す。
- 女性の職業の選択肢に「漁業・水産業」を加える。

ロゴマークの決定について

コンセプト

「女性の愛情で持続可能な水産をつくる！」 ハートは女性を象徴。
魚は無限大(∞)をモチーフとすることで持続可能な漁業をイメージ。

出品者 舘岡志保さん（北海道）



海の宝！水産女子の元気プロジェクト

海の宝！水産女子の元気プロジェクトロゴマークの活用に関するQ & A

Q 1 ロゴマークは誰でも使えますか。

A 水産女子メンバー、参加企業・団体であれば使用することができます。

また、使用する際は、「「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」統一ロゴマーク利用に関する規程」」に従って使用してください。

Q 2 ロゴマークは、どのような使い方ができますか。

A 水産物及び加工品等商品の包装資材（箱、パック、フィルム、等）やパッケージ、その水産物の告知や販売・広告活動（名刺、シール、ポスター、ちらし、POP等）に使用できます。また、展示会や、即売会などのイベントの際にもご使用ください。

なお、それら作成に係る費用はすべて自己負担とします。

Q 3 ロゴマークを使って、プロジェクトと関係のない販売目的として作った商品（例えばロゴマークのステッカーや、ロゴマーク入りのカバンなど）を製造・販売することはできますか。

A プロジェクトに関係のない商品の製造・販売はできません。

Q 4 新聞やテレビ等の報道機関は、ロゴマークを使うことはできますか。

A 報道及び広報の目的であれば使用することができます。また、使用する際は「「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」統一ロゴマーク利用に関する規程」」に従って使用してください。

Q 5 ロゴマークを使用するために、画像データを入手したいのですが。

A プロジェクトに参加する水産女子メンバー、企業、団体へは、ロゴマークの画像データを提供します。広く発信するために積極的なご使用をお願いします。

プロジェクトの進捗状況について

これまでの活動実績

第1回「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」推進会議 (プロジェクト立ち上げ) 平成30年11月16日



水産庁
jfa.maff.go.jp

水産庁suisan
2018年11月23日

【「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」発足!】

「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」は、漁業・水産業の各分野の現場で活躍されている女性が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を、様々な企業及び団体等の技術、ノウハウ、アイデア等と結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会全体に発信する取組です。

11月16日(金)、水産庁中央会議室において、第1回「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」推進会議を開催し本プロジェクトを発足させました。発足メンバーは16名で、漁師や海女見習い、水産卸業者、水産加工業者、漁業団体職員、釣りアンバサダーなど職種は様々。第1回推進会議にはその内の9名の水産女子に出席いただきました。

今後、水産女子メンバーの仲間を増やしていくとともに、参画いただける企業等へのお声かけを進めながら、水産女子と企業等とのコラボによる新たな商品やサービス、情報の創造・発信等に取り組んでいきます。

海の宝!
水産女子の元気プロジェクト

jfa/photos/pcb.760674647602777/760675087602733/?type=3&_tn_=_HH-R&eid=ARCIBgaaAEv4qd...



これまでの活動実績



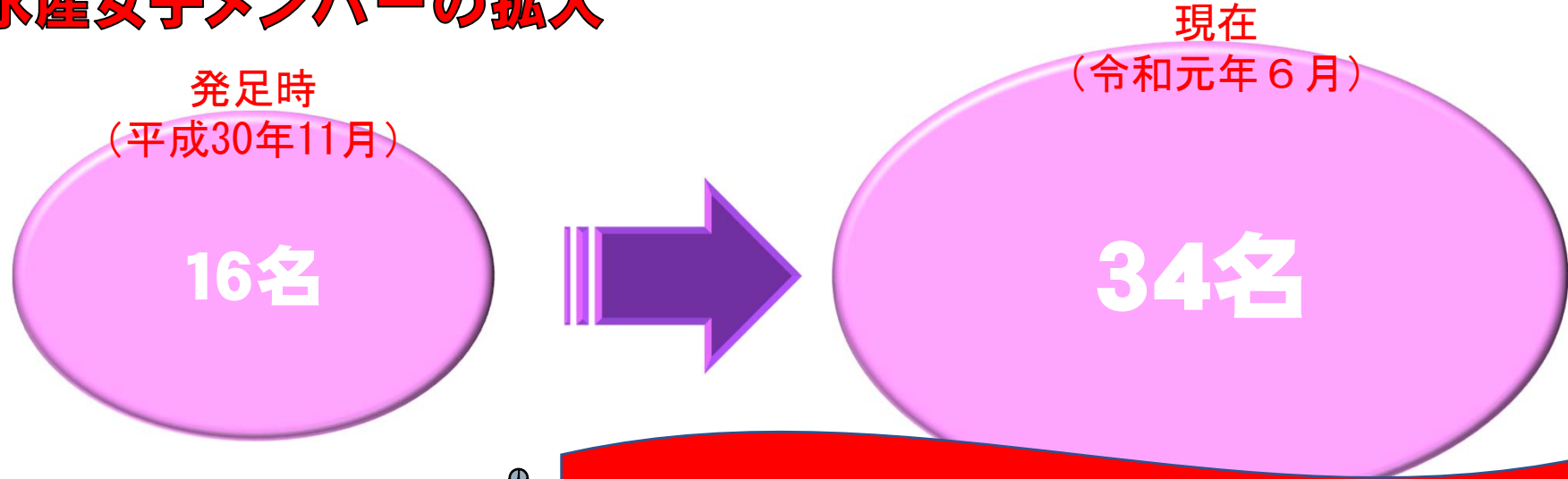
**Fish-1グランプリへのブース出展
平成30年11月25日**



**第5回国際女性会議WAW!/W20
へのブース出展
平成31年3月23日**

これまでの活動実績

水産女子メンバーの拡大



様々な業態の女子が参加

意欲と能力を発揮して前向きに取り組む女性たち

- 漁船漁業
- 養殖
- 海女
- 仲卸
- 加工
- 販売
- 営業
- 魚食
- 釣り
- 漁業団体
- その他

水産女子の活動

「第5回国際女性会議WAW!/W20」に水産女子の加工品を提供
(平成31年3月23日 於：ホテルニューオータニ東京)





**【葱・魚】三重県産☆カリっとおいしい！
葱香る骨唐揚げ**

**【Green Onion・Fish】 Made in MIE★Crispy & Tasty !
Fried Fishbone Flavored with Green Onion**



水産女子の活動

水産業の活性化などに取り組む若手漁業者団体の設立

消費者と漁業語り合う

蝦夷新鮮組 札幌で交流会

道内の若手漁業者らが8日、前浜産の付加価値向上、水産業の活性化などに取り組む団体「蝦夷新鮮組」を発足し、札幌市・すすきのの居酒屋「かわず池」(三上剛オーナー)で消費者との交流イベントを開いた。参加した約30人の消費者と各自が水揚げした魚介類の料理を囲んで、その魅



蝦夷新鮮組
EZOSHISENGUMI

「蝦夷新鮮組」のロゴ



力、水産業・漁村の課題や将来などを語り尽くした。

団体のメンバーは、代表を務める落部の館岡勇樹さん、焼尻の高松亮輔さん、苫前の小笠原宏一さん、砂原の吉岡奨悟さんの漁業者4人と、漁業コンサルタントの館岡志保さん、函館・マルシヨウ小西鮮魚店の小西一人社長、研究者の大串伸吾さん。

「北海道から漁業維新を海と魚と消費者に『義』を志す!」を掲げ、漁業者同士、また消費者とともに考え、学び、豊かな海を守っていく活動を進めていく。

発足式の後、交流イベントに移り、漁業者らが漁業を生業に志した経緯、それぞれの漁種や浜を取り巻く状況などを伝えながら、船上活締め・神経抜き、漁法、資源管理による付加価値向上、持続可能な漁業への取り組みを語った。

さらに各席を回って持ち込んだ魚介類のおいしさなどを説明しながら



④今後の活動方針などを語る(右から)小笠原宏一さん、高松亮輔さん、館岡勇樹さん、吉岡奨悟さん、小西一人社長、⑤参加した消費者に漁業者の思いなどを伝える館岡志保さん(左から2人目)

ら対話。50代の自営業男性は「いろいろな問題を抱えながらもこだわって生産している漁業者の思いを聞くことができてよかった。食材へのありがたみも分かる。次は子どもを連れてきたい」と強調。参加者同士も魚好き、漁業への関心などの共通項もあって漁業者を媒介に親交を深めていた。

「生産者と消費者の架け橋になるのが役割」と、料理の提供に腕を振るった三上オーナーは「鮮度や味わいなどしっかりとした生産者の思いやコンセプトがあると、伝えやすい」と強調。

「店づくりで大事なことがファンづくり。そういう食材は食材だけで魅力的だが、調理方法をうまくマッチさせ、また食べたいと思ってもらえる料理を提供していきたい」と笑顔を見せた。

館岡代表は「常に不安と隣り合わせの水産業の現状に対し、自分たちは何ができるのか、何をすべきかを念頭に置き、いろいろな方向から活動していきたい。その際に消費者の力添えがあれば、もっといい結果を出せる」とし「今後も生産者と消費者との距離を近づけるイベントを積極的に開いていく」と意欲を新たにしていた。

水産女子の活動

釣りを通じた地域の魅力発信

HOME ABOUT CONTACT



釣って味わう、地域の魅力

釣りは「釣るだけ」というイメージを持たれがちですが、実は釣りを通すと地域の魅力をより深く感じられることをご存知ですか？自分が主人公になって魚を釣ることで、食はもちろん、人・景観・文化に至るまで、よくある完成品でない「あなただけのびまわり体験」がはじまります。さあ、あなたは「釣って（ツッパ）」何に出会いますか？



水産女子の活動

漁師の仕事をメディアで発信

北海道 主要 農林水産 小橋後志

シェア ツイート

川内谷さん「水産女子」に 余市郡漁協で初の女性組合員 水産庁登録、道内唯一の漁業者 会員交流に期待「雑魚の活用考えたい」

03/17 14:00



取ったタラを持つ川内谷幸恵さん

【余市】町白岩町の漁業、川内谷（かわうちや）幸恵さん（40）が、水産庁の「水産女子」メンバーに登録された。漁に出る現役漁業者では道内唯一で、全国の25人の1人。川内谷さんは「各地で漁業や水産業にかかわる女性たちと交流したい。網にかかる雑魚の活用をともに考えられれば」と意欲を燃やす。

水産庁は昨年11月、漁業や水産業の現場で働く女性の感性や発想を新商品開発に活かす「水産女子」を創設した。道内では川内谷さんが唯一の漁業者として登録された。

の元気プロジェクト」を立ち上げ、応募し、「水産女子」メンバーに選ばれた。

川内谷さんは漁師一家の3代。藤一さん（64）と刺し網漁を営む。冬はヒラメとカレイ、タラシを獲る。漁船で出かける時は、漁具や漁具のメンテナンスを担当する。漁船で出かける時は、漁具や漁具のメンテナンスを担当する。



Gyoppy!

YAHOO! JAPAN

キーワードを入力

f ツイート 送信 B! 共有

2019.04.09

女性の強みを生かした元看護師・漁師妻の働き方改革

Gyoppy!



「漁師直送の鮮魚」を全国に売り込み、漁師の「営業担当」として活躍している女性が北海道にいる。噴火湾鮮魚卸能神丸の営業・広報の館岡志保（たておか・しほ）さんだ。

水産女子の活動

海女漁で獲った魚やヒトデを観覧施設へ提供



関西電力PR館
丹後魚っ知館

タッチングプール



タッチングプールでは魚やヒトデなどに、じかに手をふれて観察することができます。ここでは日本最大級のタッチングプール。水の中では海の生き物たちといっしょに、みんな元気にはしゃいでいます。



プールにいる魚や生き物の種類を学ぼう!



ヒトデ



メジナ

おぼろぎへのお願い
本プールは、観覧用のプールではございません。海女漁、産卵、産卵後のヒトデやメジナ等の観覧はご遠慮下さい。

水産館 (無料)
魚っ知コーナー
タッチングプール
エネルギー展示室
カフェ
丹後魚っ知館TOP

検索したいワードを入力ください

HOME > 企業情報 > 事業所・観覧施設 > 関西電力PR館 > 魚っ知館 > タッチングプール

水産女子の活動

平成30年度（第57回）農林水産祭 日本農林漁業振興会会長賞受賞（女性の活躍部門）

農林漁業から伸びる国と農

公益財団法人日本農林漁業振興会

トップページ

振興会の概要

天皇杯等の選賞

農林水産祭式典

爽りのフェスティバル

天皇杯等の選賞

平成30年度（第57回）天皇杯等の選賞

天皇杯等三賞は、農林水産中央審査委員会において、過去一年間の農林水産祭参加表彰行事において農林水産大臣賞を受賞した者の中から、7部門（農産・畜産・園芸・畜産・林産・水産・多角化経営、むらづくり）毎に、天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞の選賞及び女性の活躍について、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞が決定されます。

昇格的には、中央審査委員会に、経営（多角化経営）分科会、農産・畜産分科会、園芸分科会、畜産分科会、林産分科会、水産分科会及びむらづくり分科会が設置され、各分科会において表彰行事主催者から提出される「農林水産大臣賞選賞報告書」等をもとに厳正な審査（書類審査と現地調査）が行われます。

平成30年10月18日(木)に開催された農林水産祭中央審査委員会第2回総会において平成30年度農林水産祭における天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者が決定されました。

- ◆ [平成30年度天皇杯等三賞受賞者一覧](#)
- ◆ [天皇杯受賞者受賞理由概要（7部門）](#)
- ◆ [内閣総理大臣賞受賞理由概要（7部門）](#)
- ◆ [日本農林漁業振興会会長賞受賞理由概要（7部門）](#)
- ◆ [内閣総理大臣賞受賞理由概要（女性の活躍）](#)
- ◆ [日本農林漁業振興会会長賞受賞理由概要（女性の活躍）](#)

三賞受賞者は、毎年11月23日（勤労感謝の日）に開催される農林水産祭式典において、天皇杯等が授与されますが、特に天皇杯受賞者は、天皇皇后両陛下に直接業績を説明する機会が与えられます。

過去の天皇杯等三賞受賞者

- [平成27年～29年度の三賞受賞者](#)

天皇杯等三賞経過と概要

- [天皇杯等三賞経過と概要](#)



天皇杯



平成30年度農林水産祭
中央審査委員会総会(第2回)
平成30年10月18日(木)

平成30年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

天草の絆と未来を育む、クルマエビ養殖

○氏名又は名称 益田 沙央里

○所在地 熊本県天草市

○出品財 女性の活躍

○受賞理由

・地域の概要

天草市楠浦町は、野菜や果物などの栽培に適した農地が広がり、穏やかな八代海にも面していることで、マダイやブリ類の養殖が盛んにおこなわれており、クルマエビ養殖もこうした養殖業の一角を占める重要な産業となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成21年にクルマエビ養殖を行う南友楽水産の経営者との結婚を契機に同社の経営に携わり、消費者との直接取引により売上を伸ばしてきた。平成25年には販売を担う㈱クリエーション WEB PLANNING を設立して代表取締役就任し、他社のクルマエビ以外にも地元の農水産物も扱っている。

・受賞者の特色

(1) 消費者ニーズを踏まえた販売の展開

配合飼料や燃油価格の高騰、市況悪化による単価の下落など厳しい経営状況の中、熊本市内等へのポスティング、地元情報誌の掲載、インターネット販売などの販路拡大に取り組み南友楽水産の経営改善を図った。この間にも、餌の供給不足や高温による大量斃死などの困難もあったが、ブランド化と消費者ニーズを踏まえた価格設定を通じ乗り越えてきた。

(2) 天草地域の農水産業の活性化

㈱クリエーション WEB PLANNING は「生産者に寄り添った地域商社」を目指し、女性社員3名と、販売・加工に取り組んでいる。同社は、天草のクルマエビ養殖業者同士の勉強会を開催し、生産者の繋がりを生かし天草産クルマエビのブランド化、通年出荷を実現。また、天草の約100の生産者の農水産物約300点を扱い生産者の所得向上にも寄与。

(3) 地域の働く女性のための取組

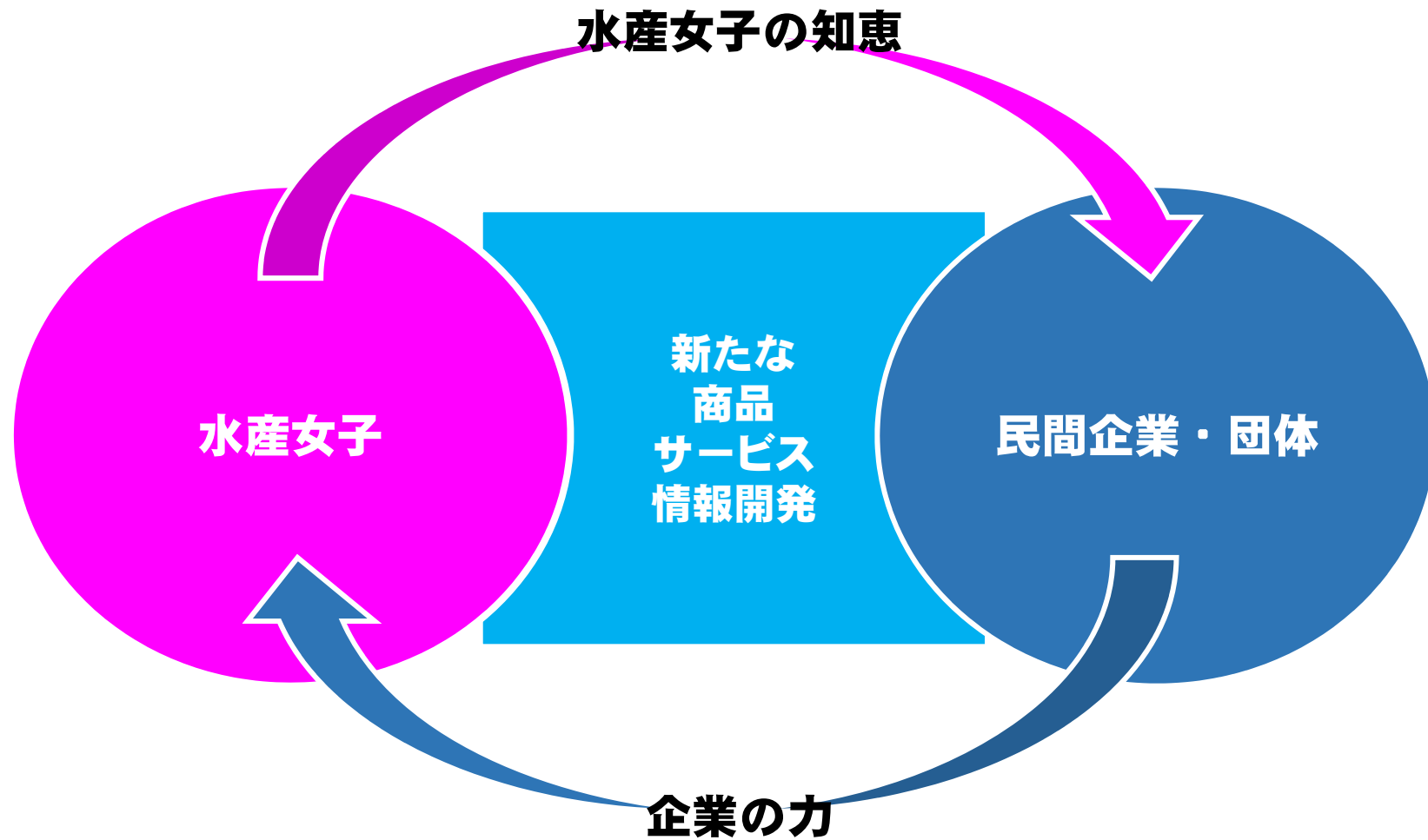
新会社の社是は、「豊かな自然環境と共存し安心安全の農水産物を生産、そこから地域が明るく、そして女性が生き生き笑顔であれば、いずれ旅立つ子どもたちが帰りたい場所」が天草となると謳われており、女性社員の働きやすい職場づくりとともに独立・企業を促す研修を実施。また、4人の子を持つ母親の立場から、母親支援を目的としたフリーペーパーの発行や地域の働く母親の要望を踏まえた保育園の設立に尽力している。

・普及性と今後の発展方向

現在、クルマエビの海外輸出の促進、IoTの活用による養殖池・生産体制の最適化、県の水産試験場と連携した養殖試験など、様々な取組を行っている。女性の視点を活かした、天草の未来を見据えた積極的な取組は、天草の農林水産業や女性にこれまでにない刺激を与えており、今後の取組の発展にも大いに期待できる。

※ 当該受賞者は、水産部門において日本農林漁業振興会会長賞を受賞

個別PJの推進



個別PJの推進

株式会社 NTTドコモ

スマート水産業
応援プロジェクト

水産女子の考える「スマート水産業」実現のため、IoTやICTを用いて、現場での課題解決を図る。
渚泊などの推進やブランディングなどでも協業し、女性発信による水産業の力、企業イメージを情報発信する。

株式会社 モンベル

モンベルフィールドウェア
(漁業ウェア)
開発プロジェクト

水産女子の目線で、快適かつファッショナブルなウェアを開発する。

水産女子とのコラボ（個別プロジェクト）を検討中

今後の進め方について

- 1. 企業等とのコラボの推進**
- 2. 水産女子コミュニティの創設**
- 3. テーマごとの分科会の設置**
- 4. 積極的な情報発信**

今後の進め方について

1. 企業等とのコラボの推進

○企業等と連携した個別プロジェクト（新たな商品やサービス、情報づくり）に向けたアイデア、意見の募集



コラボを希望する企業等（業種）及びその内容を随時募集しています。ご提案の内容を検討のうえ、事務局が適当な企業等に参画の申し入れを行います。

※応募先

☞ 水産女子HP「アイデア、意見フォーム」

<https://www.contactus.maff.go.jp/jfa/form/kenkyu/181213.html>

または、

☞ 「海の宝!水産女子の元気プロジェクト」事務局

suisanjoshi@maff.go.jp

今後の進め方について

2. 水産女子コミュニティの創設

○水産女子メンバー & 水産庁職員（有志）限定のSNSグループを設置



水産女子間の日常対話、グループ内でのイベント企画、悩み相談や成功体験などの情報交換を行うことにより、水産女子間の交流・連携をはかります。

また、企業等とのコラボの提案など、プロジェクトに関することはもちろんのこと、その他水産庁に相談したいこと、提案したいことなど、何でも気軽に自由な対話を可能とします。

今後の進め方について

3. テーマごとの分科会の設置

○Web会合又は現地会合を想定



様々な地域、業態の女子メンバーが参加されていることから、それぞれ異なる女性ならではの悩みがあると思います。その内容によってテーマごとに集まる場を設定し、水産庁女性職員チーム（仮称）が中心となってその悩み解決に取り組みます。

テーマ別分科会例 >

- ①地区別（北海道地区、東北地区、・・・）
- ②業種別（漁業、流通加工、消費・レジャー・広報、・・・）
- ③関心別（ウェア、情報、食育、漁船・船具、・・・）
- ④○○別（・・・）

※複数の分科会所属も可

今後の進め方について

4. 積極的な情報発信

- 水産女子Facebook（公開）を設置
- 皆さんが参加する各地の水産イベントを応援



水産女子Facebookから、水産女子メンバーの活動を広く発信します。まずは、週1回メンバーお一人ずつの活動紹介（自己紹介）を配信する予定ですのでご協力をお願いします。

また、メンバーからもPRしたい日頃の活動やイベント情報、地域の魅力紹介（旬な魚、グッズ、名所等）等、積極的な投稿をお願いします。

ご自身のSNSアカウントで「#水産女子」をつけた投稿も歓迎します。「#水産女子」のついた投稿をあらためてシェアします。さらに、各地で行われる水産イベントには、PRをはじめ可能な範囲でお手伝いさせていただきます。

次回推進会議

- ・ 1年間の活動の総括
- ・ 次期活動目標の検討
- ・ 情報交換 等

本年10～11月頃、開催予定

講 演

「東日本大震災、2mを超える津波からの再出発」

講 師

木村 朱見 氏

湊水産株式会社取締役（宮城県石巻市）

水産女子メンバー